

会の目的

1. 女性メッセンジャーのネットワークを構築し、女性間での協力、情報交換の場を提供する。
2. TPCでのメッセージを担当すると共に、要請があった場合には、教会、集会への女性メッセンジャーの紹介を行う。
3. 若手の女性メッセンジャーの育成をする。

Topics



JCFN ジャパニーズ・クリスチャン・フェロウシップ・ネットワーク
 日本代表主事 岡田千尋



JCFN の働きは学生たちの心から始められました。1990年、北米留学中にクリスチャンになった学生たちの持つ、「日本に帰国してからのクリスチャンとしての歩みに対する不安」や、「家族や友達への伝道の仕方に対する疑問や必要」が、留学生日本人クリスチャン間で分かち合わせ、ネットワークとなり、働きが始まりました。彼らは、発足から約25年になる今も、帰国者（海外で信仰を持った方、福音に興味を持ち始めた方、信仰の励ましを受けた方）への帰国前後の支援の働きを進めるように導いておられます。

大学生の心から始められましたが、学生だけでなく、駐在員とその家族への関わりがあります。帰国後、文化的な逆カルチャーストレスだけでなく、霊的なカルチャーショックを経験します。海外の教会と日本の教会とを目に見える部分で比較してしまったり、交わりを中心にしてきた信仰生活から、海外の教会とは違う形での交わりの持ち方をとる日本の教会の姿に戸惑ってしまったりします。目の前にある変化や違いを障害としてではなく、神様からの成長の機会として受け取って帰国後の歩みを送ってほしいと願っています。

具体的には、帰国者に対して、帰国準備に必要な学びや資料の提供、教会や帰国者の助けとなる情報の提供を行っています。北米では帰国準備のための修養会やミニストリーに関わるリーダーのためのトレーニングキャンプを行っています。日本では、教会への橋渡しの場としてのスモールグループや、地域で草の根で行われている帰国者受入れ集会のサポートを行っています。また、受入れ教会に対して帰国者とはどのような存在なのかを伝えています。帰国者の歩みには、帰国者、そして受入れ教会がお互いに興味を持ち、成長し合おうという思いを持っていくことが鍵であると思っています。



equipper conference 2014
 December 27th, 2014 - January 1st, 2015



2015年9月20日(日)~23日(水)に山梨県河口湖にて、GRC15: Global Returnees Conference (globalreturnees.org) という全世界からの帰国者のための修養会を開催します。

この場所が帰国者を送り出す教会と受入れる教会が繋がる時となり、共に帰国者の橋渡しに関わり、神様の宣教の働きに参加する時となるようにと祈っています。

Prayers

日々の祈りの課題として覚えて祈りましょう！

1. TWMの目的達成のために。
2. 今後の活動に、明確なビジョンが与えられるように。
3. TWMのメンバーが一致して活動できるように。
4. お互いの健康と、ミニストリーのために。



TPCお昼の礼拝奉仕

お互いに参加して、盛り上げましょう！

今まで、日曜日のお昼の礼拝は、関根一夫師によって、MACFと合同という形で行っていただいていたのですが、6月から、日曜日も平日と同じ形式での礼拝を行うことになりました。是非、覚えて、ご協力ください。



June

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 6日(土) 申英美
(十字架福音キリスト教会 会員) | 14日(日) 朝比奈二三代
(ハウスチャーチぶどうの木 主宰) |
| 7日(日) 山田真規子
(TPC女性メッセンジャーの会 会員) | 17日(水) 西住加奈
(東京バテルチャーチ 伝道師) |
| 13日(土) 所美保
(となりびと 主宰) | 27日(土) 北郷磨理子
(ITCN午後集会 サーバントリーダー) |
| | 30日(火) 桐山由利子
(聖契神学校生) |

父の日

先月の母の日に続いて、今月21日は『父の日』です
Wikipedia で調べてみました。(抜粋)



1909年にアメリカ・ワシントン州スポケーンのソノラ・スマート・ドッドが、男手1つで自分を育ててくれた父を讃えて、教会の牧師にお願いして父の誕生日である6月に礼拝をしてもらったことがきっかけと言われている。最初の父の日の祝典は、その翌年の1910年6月19日にスポケーンで行われた。当時すでに母の日が始まっていたため、彼女は父の日もあるべきだと考え、「母の日のように父に感謝する日を」と牧師協会へ嘆願して始まった。1916年、アメリカ合衆国第28代大統領ウッドロー・ウィルソンは、スポケーンを訪れて父の日の演説を行い、これにより父の日が認知されるようになる。

今月のコラム

クラシック鑑賞のススメ♪「レクイエム」

意味は、「安息を与えたまえ」で、日本語では、「鎮魂歌」と訳されます。一般的には、カトリックの典礼文「死者のためのミサ」に曲をつけたものです。ただし、1960年代に行われた第二ヴァチカン公会議で、この典礼は廃止されたので、現在、カトリックでこの典礼が行われることはありません。とは言え、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレなど、有名な作曲家による「レクイエム」は、今なお、世界中で演奏され、多くの人々の心に感動を与えています。

同じ、「レクイエム」でも、ブラームスの「ドイツレクイエム」だけは、内容が全く異なります。

彼は信仰深い、プロテスタントでした。なので、ルター訳による聖書の御言葉そのものに、曲をつけたのです。7曲からなるこの作品は、「悲しむ者はさいわい(マタイ5:4)」から始まり、「涙を流して種をまく者(詩篇126)」「草は枯れ花は散る(イペテロ1:24)」と続き、人生の苦しみ儚さを歌います。そして最後は「死は勝利に吞まれてしまった(1コリント15:51~55)」と、復活と主への賛美を高らかに謳い上げていきます。彼はまた、言葉だけでなく、音の1つ1つにも意味を含め、ドイツ三大Bである、バッハやベートーベンの作品の引用ともとれる表現などを用いることによって、聞く者に、この1曲だけではない、過去の偉大な作品が持つテーマをも感じさせます。日本語ではないので、ストレートに感じることは難しいかもしれませんが、歌詞を最初に読んでから聞いてみたら、きっと、深い感動を覚えることと思います。



<事務局より>

6月は梅雨入りのシーズンですね。健康に注意して、元気にお過ごしください。

(平石 Mail; myrtus@mb.infoweb.ne.jp)

TPC女性メッセンジャーの会

会長 保田みゆき
事務局 平石加代子
サポート 朝比奈二三代
所美保

千代田区神田駿河台2-1 OCC 404号
東京プレーセンター内
TEL & FAX 03-5577-6365
Mail; info@tpc365.com

各種ご入金や献金は下記の口座にお願いいたします

(口座名) TPC女性メッセンジャーの会
ゆうちょ銀行からご入金の場合 記号10110 番号27951511
他の金融機関からご入金の場合 店番018(普通)番号2795151